

エコアクション21
2023年度(令和5年度)
環境経営レポート

対象期間:2023年9月1日～2024年8月31日



作成日:2024年10月 3日

改訂日:2024年10月 29日

株式会社 平井眞美館

■目次

環境経営方針	1
実施体制図及び役割・責任・権限表	3
環境経営目標への取組結果と評価	4
今年度の環境経営計画への取組の結果	10
環境関連法規への違反、訴訟等の有無	11
環境経営目標についての過去と実績と、今後について	12
次年度の環境経営計画	18
代表による全体の評価と見直し	19

【 環 境 経 営 方 針 】

当社は今日地球規模での自然環境が悪化していることを憂慮し、持続可能な経済社会を目指し、環境保全を推進する為以下の方針を定めます。

- 1、当社は印刷会社として多くの紙を扱う中で、製品にならない損紙、余備本等の紙ロスを減少させることを課題とし、印刷方法や作業手順を合理化することにより資源や時間を削減し、自社を継続的な成長へとつなげるチャンスと考えます。
- 2、当社は環境に関する法令及びその他の規範、関係法令を遵守します。
- 3、二酸化炭素排出量の削減、廃棄物排出量の削減、水使用量の削減、化学物質の把握に取り組みます。
- 4、事業活動における廃棄物の排出抑制、再使用、リサイクルを行い、エコ商品の購入を推進します。
- 5、資源のムダにつながる確認ミスによる再制作防止に努めます。
そのために、お客様・協力会社・社員との連携を推進します。
- 6、大切に保存していただけるような立派な作品の制作を目指します。
保存し続けていただくことにより、処分される製品の削減に貢献したい。
- 7、環境経営に関する取り組みは安全衛生、品質向上とともに全社員に周知させ、これを実行するとともに継続的に見直し、改善・向上に努めます。

制定 2010年（平成22年）10月18日

改定 2011年（平成23年）8月25日

改定 2018年（平成30年）1月1日

改定 2020年（令和2年）1月1日

株式会社 平井眞美館

代表取締役社長 平井 光

◆組織の概要

(1)名称及び代表者名

株式会社 平井眞美館
代表取締役社長 平井 光

(2)所在地

本社・工場 〒630-8325 奈良県奈良市西木辻町59
三島営業所 〒411-0815 静岡県三島市安久340

(3)環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 植杉 靖幸
担当者 岡西 綸恵
連絡先 電話:0742-23-3775 FAX:0742-27-2189
URL:<https://www.shinbikan.co.jp/> E-mail:info-hirai@shinbikan.co.jp

(4)事業内容

学校卒業アルバムの制作、パンフレット等一般印刷物作成

(5)事業規模

資本金 3,800万円 卒業アルバム受注146,459冊 一般印刷物作成382件
社員数 70名(2024年8月現在)
本社・工場の社屋延床面積 4,015.43㎡

(6)事業年度 9月～翌8月

◆認証・登録の対象組織・活動

登録組織名: 株式会社 平井眞美館 本社・工場

関連事業所: 三島営業所

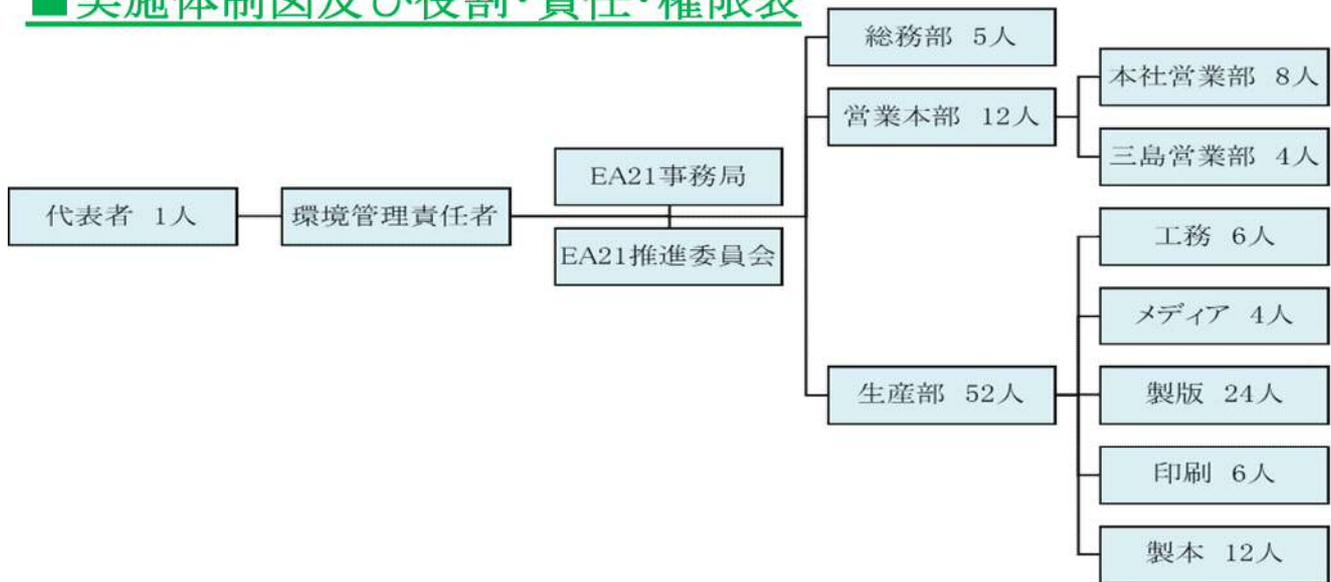
対象外: なし

活動: 学校卒業アルバムの制作、パンフレット等一般印刷物作成

◆沿革

昭和11年(1936年) 平井良一、広島市において、コロタイプ印刷業として創業
20年(1945年) 広島市への原爆投下により、工場焼失
22年(1947年) 奈良県天理市において、コロタイプ印刷業を再開
28年(1953年) 経営組織変更により、株式会社平井眞美館を設立
29年(1954年) 奈良市に本社事務所・工場を移転
34年(1959年) 静岡県三島市に営業所・工場を開設
39年(1964年) 創業者 平井良一 紺綬褒章を受章
40年(1965年) 奈良本社・工場新築 鉄骨1,533㎡
60年(1985年) 奈良本社・事務所新築
61年(1986年) 静岡工場、新築
62年(1987年) 東京営業所、開設
創業者 平井良一 藍綬褒章を受章
63年(1988年) 静岡工場、事務所新築
平成 元年(1989年) 平井宏治、社長就任
7年(1995年) DTP導入し、デジタル化に対応
15年(2003年) CTP導入し、フルデジタル化
15年(2003年) CTP増設、静岡工場の工場機能を奈良本社工場に統合
18年(2006年) 平井 光、社長就任
23年(2011年) エコアクション21認証登録(11月10日)
28年(2016年) デジタル印刷機の導入
令和 2年(2020年) デジタル印刷機の増設

■実施体制図及び役割・責任・権限表



代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ・環境管理責任者を任命 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境目標・環境活動計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しを実施 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ票を承認 ・環境目標・環境活動計画書を確認 ・環境活動の取組結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの確認
EA21事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA21推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境目標、環境活動計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)
部門担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成、テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針・環境目標・環境活動計画・各自の役割の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

■環境経営目標への取組結果と評価

(1) 目標と結果

令和5年度(令和5年9月～令和6年8月)

項目		目標	実績	達成度 (目標/実績)	評価
二酸化炭素	(kg-CO ₂)	185,299	174,231	106.4%	○
a) 電力	(kWh)	436,255	442,486	98.6%	×
b) 灯油	(L)	2,596.6	2,616.2	99.3%	×
c) ガソリン	(L)	10,297.2	8,695.8	118.4%	○
d) 軽油	(L)	1,415.6	1,443.9	98.0%	×
e) ガス	(m ³)	346.7	317.8	109.1%	○
廃棄物	(t)	25.6	25.5	100.4%	○
ミス・ムダ	(件)	28.7	13.0	220.8%	○

備考 1) 化学物質である「ジクロロメタン」は、平成24年9月に不使用を達成した。

備考 2) 三島営業所のLPGガスについては、使用量が微量につき集計しない。

備考 3) 二酸化炭素排出係数は、

0.318kg-CO₂ /kWh(関西電力・令和1年度)A0272D

0.442kg-CO₂ /kWh(東京電力エナジーパートナー・令和1年度)A0269E

(2) 評価と取組内容

本社工場として「電力」「灯油」、三島営業所として「電力」「軽油」「廃棄物」「水」の削減が達成できなかった。

全体として「温室効果ガス」は本社工場、三島営業所とも削減することができたが、「電力」「灯油」「軽油」があと少しのところ未達成となった。なお、「電力」については排出係数を変更しました。

昨年達成できなかった「水」「ムダ」については、削減を達成することができた。

不達成となった「電力」については、残業時間が増加したことが原因と思われる。本社工場と三島営業所の平均が96.7%のため見直しをし、次年度100%以上の数値がでるよう努める。

「灯油」については、工場内への連絡確認対応していく。

「軽油」については、3月に納品時レンタカーを使用したため増加したことが原因と思われるが、納品時のみの対応のため、問題としない。

「廃棄物」については、営業所内の整理を行ったため増加したが、昨年より減っているため、様子を見る。

「水」については、99%の実績と数値管理のみの活動のため、問題としない。

(3) 社員の意識高揚

SDGsなどセミナー等への参加できる機会を与える。

お客様と連帯、個々のレベルアップを強化。

環境整備を見直し実施。

毎月の環境負荷量をグラフ化し、掲示、朝礼等で周知確認する。

化学物質に関して今まで通り未使用とし、必要な時にリスクアセスメントを行う。

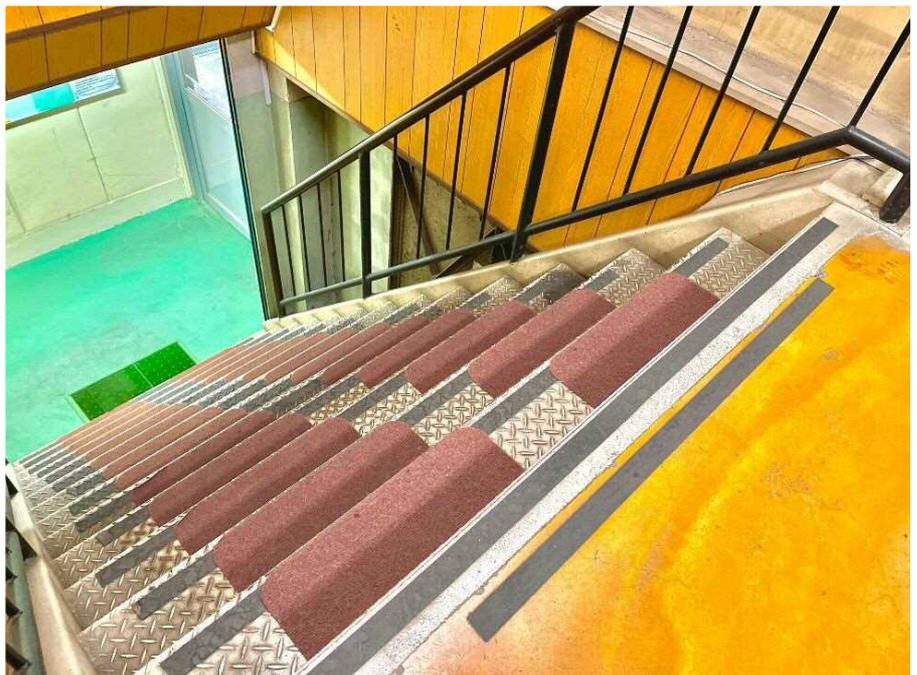
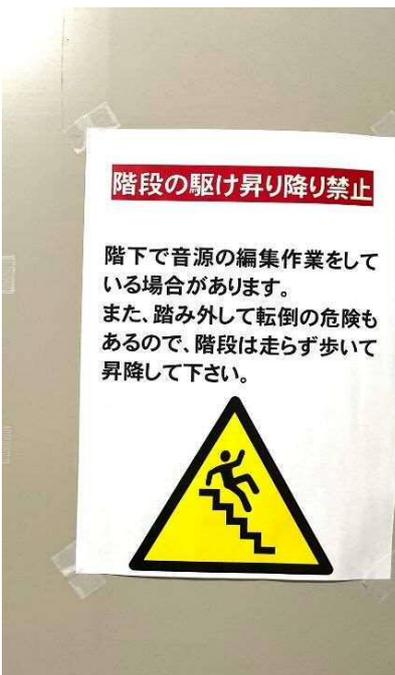
化学物質管理者、保護具着用管理責任者を選任。

7S活動の呼びかけと行動により廃棄物の削減を目指す。

ペットボトルの持ち帰りを呼びかけてゴミの量を削減する。

敷地一面に四季折々の草花を植えることで心身のストレスが緩和される。

<防音マット設置>



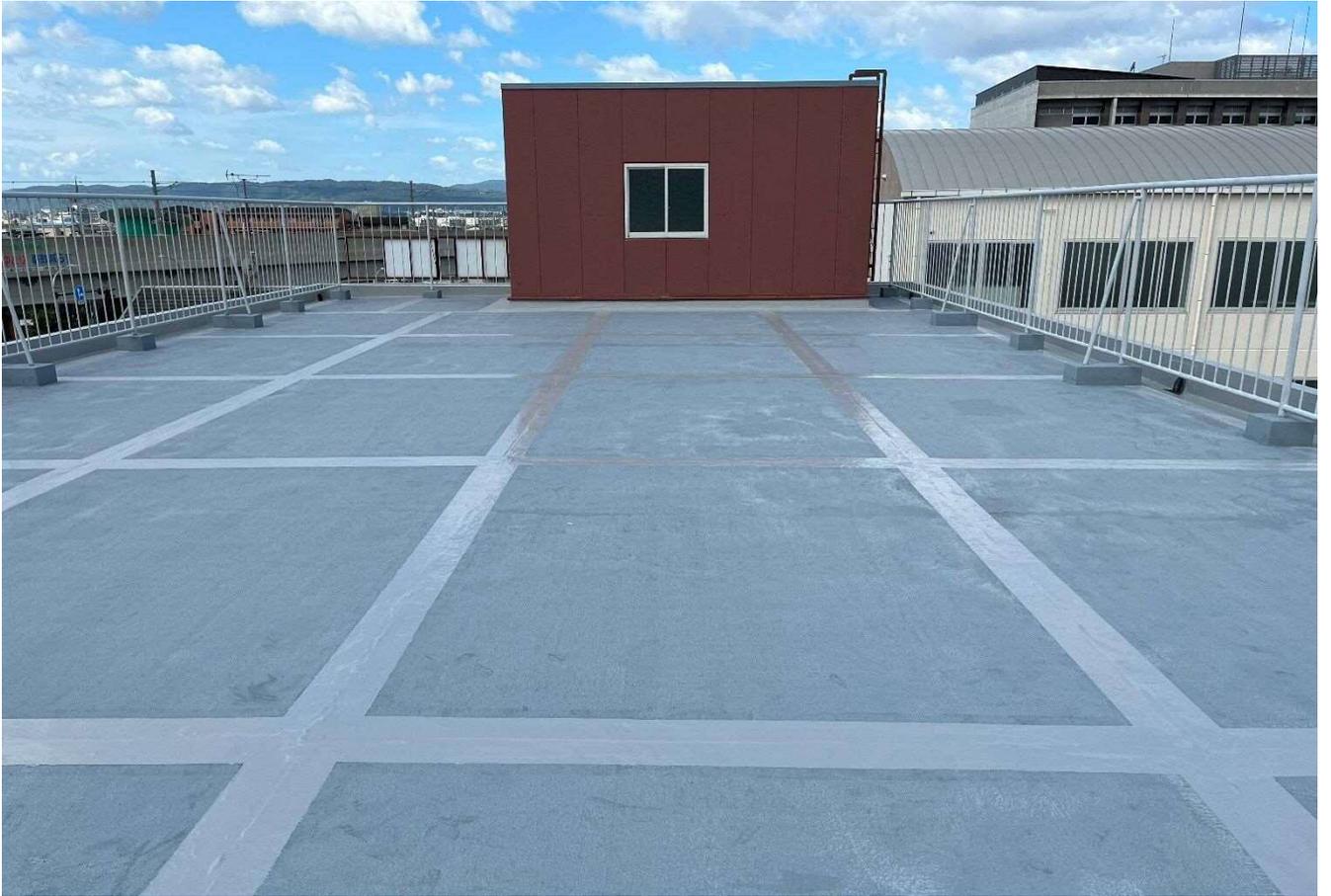
<床の溝埋め作業>



<給茶機を使用しない>



<雨漏り修理>



<中綴機入れ替え>



<環境整備>



<種類ごとに分別したゴミ置き場>



<更衣室階段電気の節電を促す貼紙>



<消防訓練の様子>



<前年比較グラフの掲示>



<SDGsの17テーマの掲示>



<花壇の草花>



■今年度の環境経営計画への取組の結果

今年度の環境経営計画への取組の結果は次のとおりである。

・ 遵守評価・・・○:できている、△:充分ではない、×:できていない

取組項目	実施事項	実行評価
1) 二酸化炭素排出量の削減		
電力使用量の削減	①昼休みの消灯の励行 ②空調の適温化(扇風機等による空気循環) ③不使用空間の確認およびその部署の消灯 ④エアコンフィルターの点検・清掃 ⑤照明器具の再点検・LED への交換ー省電力化	△ △ ○ ○ ○
灯油使用量の削減	①空調の適温化(扇風機等による空気循環) ②エアコンとの併用で適切な使用による低温対策	△ ○
ガソリン使用量 軽油使用量の削減	①乗車時の走行記録による距離の把握 ②車内冷暖房の控えめな使用 ③車内の不要な荷物の排除(車内の整理・整頓・清掃) ④作業調整・ルート効率化により無駄な移動の削減 ⑤荷卸し時のエンジンストップ ⑥適切な車間距離の保持 ⑦公共交通機関の使用	○ ○ ○ ○ △ ○ △
ガス使用量の削減	①給湯器使用時の流しっぱなし禁止、まめに止める ②給湯温度は低温での使用 ③昼食準備の湯沸し時間のムダを無くす	△ △ △
2) 廃棄物排出量の削減	①分別の徹底、リサイクル出しによるゴミの削減 ②作業ミスによる材料廃棄の削減 ③社内文書の印刷物は、裏紙、両面機能を活用 ④ペーパー書類見直し ⑤予備の製品を極力少なくし、紙の使用量を減らす	○ △ △ △ △
3) 水使用量(水道水)の削減	①常に節水を心がけ、最小限の使用を期す ②元栓の調整ー流量の削減	△ ○
4) 環境関連法規の遵守	①自社に関する環境関連法規の整備 ②最新の環境関連法規制等の情報収集の調査 ③部署における使用材料に関する意識の改革	○ ○ △
5) 日々の省資源への取組ー 着実な積み重ね	①デジタルの発達による材料の低減 ②7S(整列・整理・整備・整頓・清掃・清潔・躰)の推進	○ △
6) ムダの削減による省資源 ー確認ミス等による資源の ムダの防止	①ミスによる再制作の件数把握、原因の調査、再発防止の対策 ②ミス削減の為の新たな対策、改善 ③作業標準書の作成によるムダの削減	△ △ △
7) 作業環境の整備	①化学物質使用量の把握、新たな溶剤の管理 ②リスクアセスメントの実施	○ ○
8) 地域への貢献	①会社周辺の溝の清掃活動等	○

■環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(1) 適用となる主な環境関連法規

主な適用法規等	該当する活動	遵守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出の適正な処理	遵守
消防法	防火、消火設備の設置、維持管理	遵守
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)	化学物質の適正な管理	遵守
労働安全衛生法 有機溶剤中毒予防規則 (化学物質) (ストレスチェック) (受動喫煙防止)	適正な安全衛生管理、教育 有機溶剤に関する適正な管理 リスクアセスメントの実施義務 ストレスチェックの実施義務 受動喫煙防止の適切な措置	遵守
資源有効利用促進法	資源の有効な利用(3Rの見直し)	遵守
水質汚濁防止法	排水の適正な処理	遵守
騒音規制法	騒音の抑制、特定施設の届出	遵守
振動規制法	振動の抑制、特定施設の届出	遵守
浄化槽法	定期点検・清掃の実施	遵守
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検と記録	遵守
電気事業法	基準に適合するように維持、管理	遵守
奈良県環境基本条例	奈良県民としての責務の遵守	遵守
奈良市環境基本条例	奈良市民としての責務の遵守	遵守
静岡県環境基本条例	静岡県民としての責務の遵守	遵守
三島市環境基本条例	三島市民としての責務の遵守	遵守
家電リサイクル法	対象品目に対し適切な処理	遵守
小型家電リサイクル法	対象品目に対し適切な処理	遵守

(2) 違反、訴訟等の有無

環境関連法規への違反や訴訟はありません。

環境関連法規の遵守状況をチェックし、問題がありません。

※今後、当社が遵守すべき法令、条例、規則等の把握を期し、各法令に、真摯に向き合い、より適切に、対応してゆくように努力します。

外部からの苦情なし。

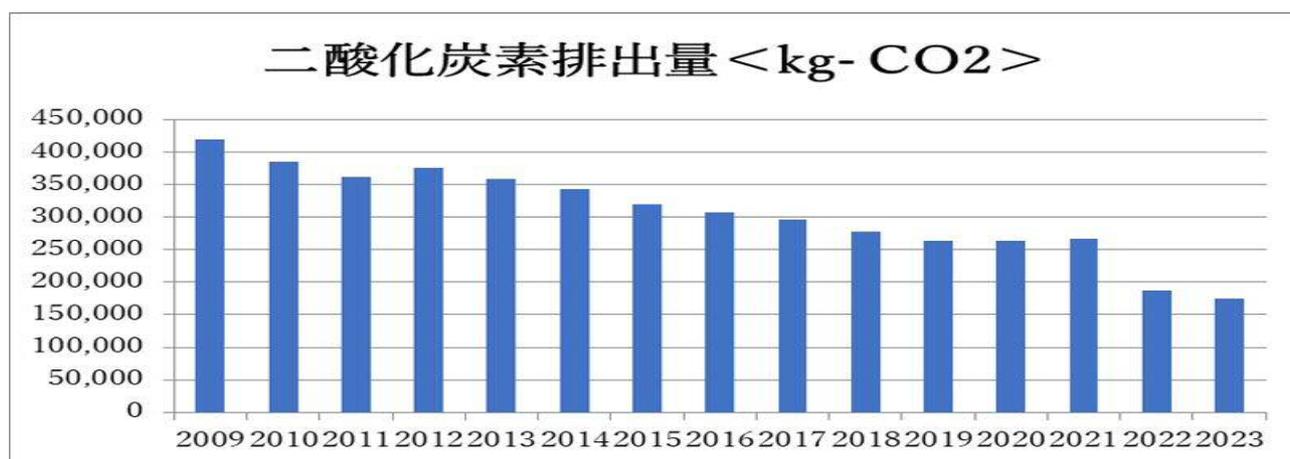
■環境経営目標についての過去の実績と、今後について

(1) 環境負荷の実績

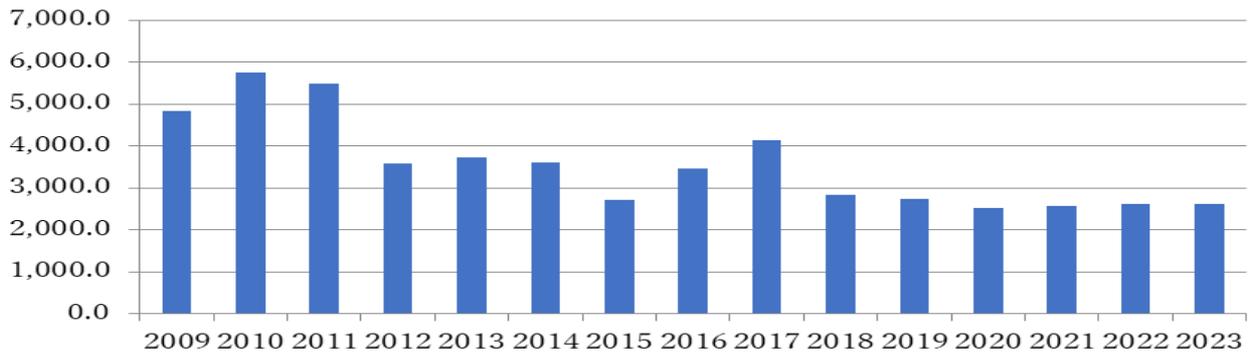
環境負荷の項目	旧・基準年・ 2009(H21)年度 (H21.9~H22.8)	2010(H22)年度 (H22.9~H23.8)	2011(H23)年度 (H23.9~H24.8)	2012(H24)年度 (H24.9~H25.8)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	419,880 <100%>	384,458 <92%>	361,032 <86%>	376,189 <90%>
電力量総量 (kWh/年)	690,715 <100%>	633,828 <92%>	596,865 <86%>	640,912 <93%>
灯油使用量 (L/年)	4,838.2 <100%>	5,751.3 <119%>	5,478.3 <113%>	3,593.0 <74%>
ガソリン使用量 (L/年)	22,127.4 <100%>	18,986.9 <86%>	17,911.1 <81%>	17,257.3 <78%>
軽油使用量 (L/年)	3,950.9 <100%>	3,383.8 <86%>	3,224.2 <82%>	2,988.6 <76%>
ガス使用量 (m ³ /年)	561.4 <100%>	448.4 <80%>	429.9 <77%>	478.0 <85%>
廃棄物排出量 (t/年)	272.4 <100%>	240.2 <88%>	294.2 <108%>	234.3 <86%>
水使用量 (m ³ /年)	2,063 <100%>	1,487 <72%>	1,462 <71%>	1,385 <67%>
化学物質使用量 含有量合計(kg/年)	1,215.5 <100%>	1,177.7 <97%>	710.8 <58%>	0 <0%>
環境負荷の項目	2013(H25)年度 (H25.9~H26.8)	2014(H26)年度 (H26.9~H27.8)	新・基準年・ 2015(H27)年度 (H27.9~H28.8)	2016(H28)年度 (H28.9~H29.8)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	358,134 <85%>	342,828 <82%>	319,368 <76%>	307,978 <73%>
電力量総量 (kWh/年)	615,835 <89%>	587,230 <85%>	546,249 <79%>	526,692 <76%>
灯油使用量 (L/年)	3,728.2 <77%>	3,621.1 <75%>	2,725.6 <56%>	3,463.4 <72%>
ガソリン使用量 (L/年)	15,106.7 <68%>	15,049.6 <68%>	14,609.9 <66%>	13,125.8 <59%>
軽油使用量 (L/年)	2,643.0 <67%>	2,384.8 <60%>	2,480.7 <63%>	2,473.7 <63%>

ガス使用量 (m ³ /年)	460.0 <82%>	446.5 <80%>	402.2 <72%>	380.7 <68%>
廃棄物排出量 (t/年)	223.6 <82%>	229.2 <84%>	195.0 <72%>	186.0 <68%>
水使用量 (m ³ /年)	1,273 <62%>	1,219 <59%>	1,089 <53%>	1,015 <49%>
化学物質使用量 含有量合計(kg/年)	0 <0%>	0 <0%>	0 <0%>	0 <0%>
環境負荷の項目	2017(H29)年度 (H29.9~H30.8)	2018(H30)年度 (H30.9~R1.8)	2019(R1)年度 (R1.9~R2.8)	2020(R2)年度 (R2.9~R3.8)
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	295,871 <70%>	277,889 <66%>	264,224 <63%>	263,212 <63%>
電力量総量 (kWh/年)	502,055 <73%>	476,246 <69%>	459,687 <67%>	455,509 <66%>
灯油使用量 (L/年)	4,128.7 <85%>	2,835.7 <59%>	2,739.8 <57%>	2,527.0 <52%>
ガソリン使用量 (L/年)	12,890.9 <58%>	13,453.1 <61%>	11,174.5 <51%>	11,816.1 <53%>
軽油使用量 (L/年)	2,084.3 <53%>	880.8 <22%>	863.1 <22%>	946.8 <24%>
ガス使用量 (m ³ /年)	388.1 <69%>	375.5 <67%>	415.0 <74%>	377.0 <67%>
廃棄物排出量 (t/年)	169.4 <62%>	165.8 <61%>	179.0 <66%>	30.3 <11%>
水使用量 (m ³ /年)	994 <48%>	942 <46%>	925 <45%>	942 <46%>
化学物質使用量 含有量合計(kg/年)	0 <0%>	0 <0%>	0 <0%>	0 <0%>
環境負荷の項目	2021(R3)年度 (R3.9~R4.8)	2022(R4)年度 (R4.9~R5.8)	2023(R5)年度 (R5.9~R6.8)	
二酸化炭素排出量 (kg-CO ₂ /年)	266,444 <63%>	187,171 <45%>	174,231 <41%>	
電力量総量 (kWh/年)	464,581 <67%>	440,662 <64%>	442,486 <64%>	

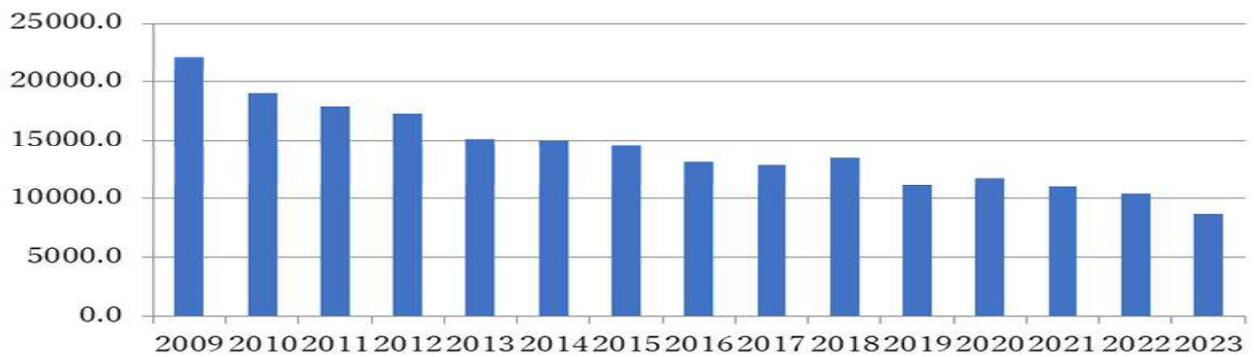
灯油使用量 (L/年)	2,578.8 <53%>	2,622.8 <54%>	2,616.2 <54%>
ガソリン使用量 (L/年)	11,020.7 <50%>	10,401.2 <47%>	8,695.8 <39%>
軽油使用量 (L/年)	1,134.6 <29%>	1,429.9 <36%>	1,443.9 <37%>
ガス使用量 (m ³ /年)	365.1 <65%>	350.2 <62%>	317.8 <57%>
廃棄物排出量 (t/年)	32.7 <12%>	25.9 <10%>	25.5 <9%>
水使用量 (m ³ /年)	942 <46%>	1,203 <58%>	839 <41%>
化学物質使用量 含有量合計(kg/年)	0 <0%>	0 <0%>	0 <0%>



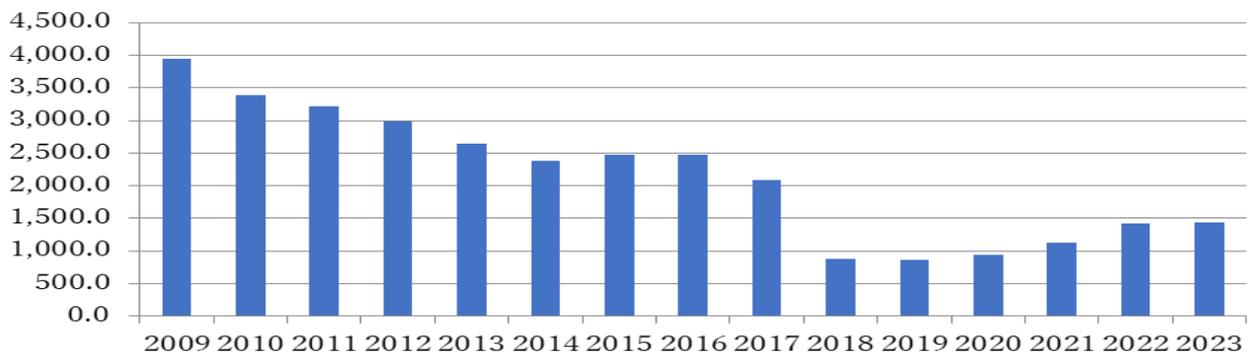
灯油使用量<L>



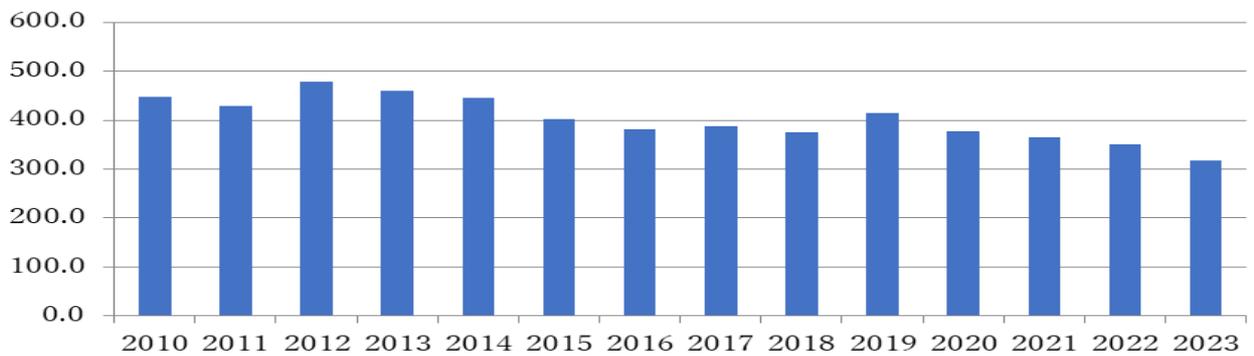
ガソリン使用量<L>

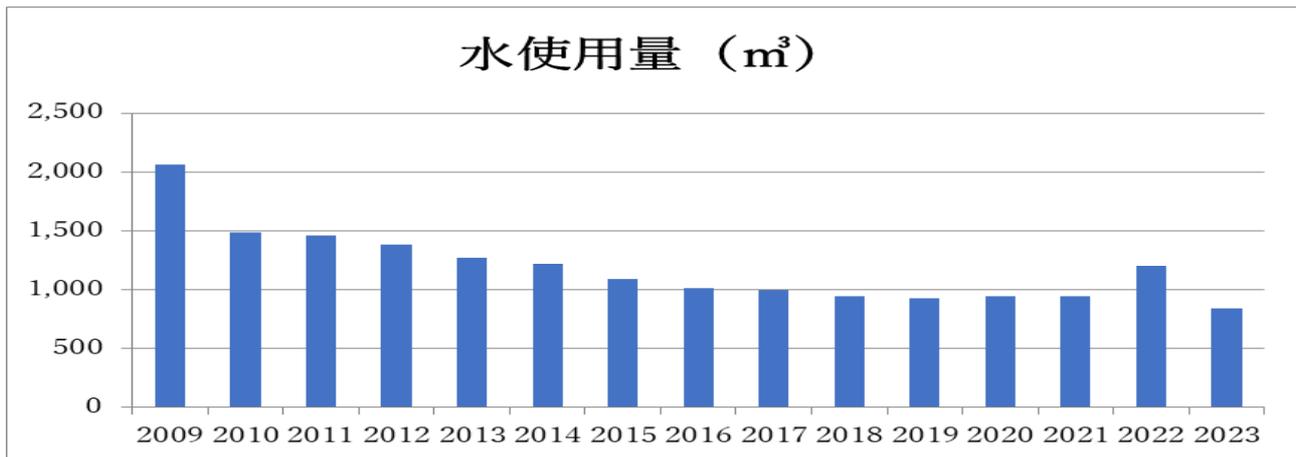


軽油使用量<L>



ガス使用量 (m³)





備考 1) 化学物質の数値は「ジクロロメタン」の量を記載します。

備考 2) 三島営業所の LPG ガスについては、使用量が微量につき集計しない。

備考 3) 二酸化炭素排出係数は、

0.318kg-CO₂ /kWh(関西電力・令和 1 年度)A0272D

0.442kg-CO₂ /kWh(東京電力エナジーパートナー・令和 1 年度)A0269E

(2) 今後の環境目標

・基準年 2015(平成 27)年度の数値から、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量につき毎年 1%削減する。

化学物質使用量(ジクロロメタンの量)については、今後もゼロを維持し、リスクアセスメントを実施していく。平成 28 年の「様式 13-01 代表者による全体の評価と見直し記録」の[その他の環境経営システムの実施状況]で報告した通り、ジクロロメタンと第二有機溶剤ともに無使用を続け、PRTR法

にも該当せず作業を続けられている。今後も様々な溶剤に注意しSDSを取り入れて環境に良い状況を維持するよう努める。

引き続き来年度も、基準年の変更により、高くなった目標のバーを目指して向上へチャレンジしたい。

今後の環境目標 【 】内の数値は、基準年の数値に対する「削減の掛け率」である。

目標 取組項目	基準年	次年度目標	中長期目標		
	2015(H27)年度 (H27.9~H28.8)	2024(R6)年度 (R6.9~R7.8)	2025(R7)年度 (R7.9~R8.8)	2026(R8)年度 (R8.9~R9.8)	2027(R9)年度 (R9.9~R10.8)
二酸化炭素排出量の削減(kg-CO ₂ /年)	319,368	290,625 【0.91】	287,431 【0.90】	284,238 【0.89】	281,044 【0.88】
電力量総量の削減(kWh/年)	546,249	497,087 【0.91】	491,624 【0.90】	486,162 【0.89】	480,699 【0.88】
灯油使用量の削減(L/年)	2,725.6	2,480.3 【0.91】	2,453.0 【0.90】	2,425.8 【0.89】	2,398.5 【0.88】
ガソリン使用量の削減(L/年)	14,609.9	13,295.0 【0.91】	13,148.9 【0.90】	13,002.8 【0.89】	12,856.7 【0.88】
軽油使用量の削減(L/年)	2,480.7	2,257.4 【0.91】	2,232.6 【0.90】	2,207.8 【0.89】	2,183.0 【0.88】
ガス使用量の削減(m ³ /年)	402.2	366.0 【0.91】	362.0 【0.90】	358.0 【0.89】	353.9 【0.88】
廃棄物排出量の削減(t/年)	195.0	177.5 【0.91】	175.5 【0.90】	173.6 【0.89】	171.6 【0.88】
水使用量の削減(m ³ /年)	1,089.0	1,001.9を下回るとする			
化学物質使用量の削減(kg/年)	0を維持する				
ムダの削減による省資源への取組(件/年)	88.0	80.1 【0.91】	79.2 【0.90】	78.3 【0.89】	77.4 【0.88】
環境関連法規の遵守	環境関連法規の遵守に努める。数値目標は設けない。				
日々の省資源の削減への取組	印刷技術等での着実な積み重ね、7Sの推進等。数値目標は設けない。				
大切に保存していただける立派な作品の制作	保存していただくことにより、処分される製品の削減に貢献したい。この精神を全ての活動において貫く。数値目標は設けない。				
環境経営への取組の全社員への周知	周知の徹底の実行とともに、継続的な見直し、改善、向上に努める。数値目標は設けない。				

備考1) 化学物質使用量は今後も0を維持する。

備考2) 三島営業所のLPGガスについては、使用量が微量につき集計しない。

備考3) 二酸化炭素排出係数は、

0.318kg-CO₂ /kWh(関西電力・令和1年度)A0272D

0.442kg-CO₂ /kWh(東京電力エナジーパートナー・令和1年度)A0269E

■ 次年度の環境経営計画

次年度の環境経営計画を次のとおり設定します。

取組項目	実施事項
1) 二酸化炭素排出量の削減	
電力使用量の削減	①空調の適温化(扇風機等による空気循環) ②不使用空間の確認およびその部署の消灯 ③エアコンフィルターの点検・清掃 ④照明器具の再点検・LED への交換ー省電力化 ⑤夜間、休日は、パソコン、プリンター、機械の電源を切っている
灯油使用量の削減	①空調の適温化(扇風機等による空気循環) ②エアコンとの併用で適切な使用による低温対策
ガソリン使用量 軽油使用量の削減	①各種ライトの点灯、タイヤの空気圧の確認 ②乗車時の走行記録による距離の把握 ③車内冷暖房の控えめな使用 ④車内の不要な荷物の排除(車内の整理・整頓・清掃) ⑤作業調整・ルート効率化により無駄な移動の削減 ⑥荷卸し時のエンジンストップ ⑦適切な車間距離の保持 ⑧公共交通機関の使用
ガス使用量の削減	①給湯器使用時の流しっぱなし禁止、まめに止める ②給湯温度は低温での使用 ③昼食準備の湯沸し時間のムダを無くす
2) 廃棄物排出量の削減	①分別の徹底、リサイクル出しによるゴミの削減 ②作業ミスによる材料廃棄の削減 ③社内文書の印刷物は、裏紙、両面機能を活用 ④ペーパー書類見直し ⑤予備の製品を極力少なくし、紙の使用量を減らす
3) 水使用量(水道水)の削減	①常に節水を心がけ、最小限の使用を期す ②元栓の調整ー流量の削減
4) 環境関連法規の遵守	①自社に関する環境関連法規の整備 ②最新の環境関連法規制等の情報収集の調査 ③部署における使用材料に関する意識の改革
5) 日々の省資源への取組ー 着実な積み重ね	①デジタルの発達による材料の低減 ②7S(整列・整理・整備・整頓・清掃・清潔・躰)の推進
6) ムダの削減による省資源ー ミスによる資源のムダの防止	①ミスによる再制作の件数把握、原因の調査、再発防止の対策 ②ミス削減の為の新たな対策、改善 ③作業標準書の作成によるムダの削減
7) 作業環境の整備	①化学物質使用量の把握、新たな溶剤の管理 ②リスクアセスメントの実施
8) 地域への貢献	①会社周辺の溝の清掃活動等

■代表者による全体の評価と見直し

- お客様・協力会社・社員と連携し、人的ミスによる再制作防止を強化
- 廃棄物の排出抑制
- 安全衛生と品質向上を目指す
- 作業効率をUPし、時間短縮を図る
- 「持続可能な開発目標 SDGs」の17のテーマを周知させる
- デジタル印刷の比率を増やし、不用紙(廃棄ロス及び溶剤、資材等)を減らす

以上